

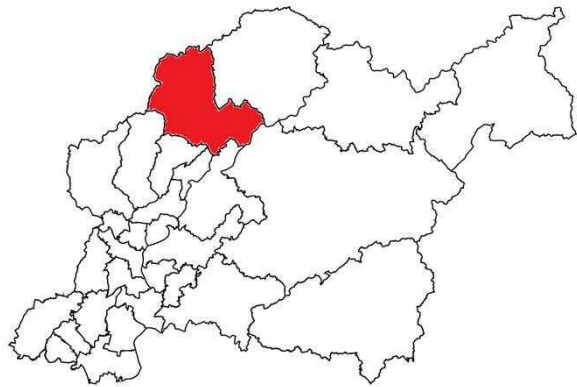
藤岡地域

自治力見える化カルテ (1/2)

地域概要 (地域の構造)

基礎データ (平成30年4月1日現在)

【位置図】



【地域特性】

藤岡地区は、豊田市の北部にあり、三国山裾に位置し、瀬戸市・岐阜県土岐市に隣接する。
また、豊田市都市計画区域に含まれ、一部の工業専用地域を除く、市街化調整区域で構成される。明治期には「鉱業」で栄え、「47・7災害」で大きな被害を受けつつも、昭和後期には自動車産業による「工業」で発展した。
一方で、ふじの回廊、川口やな、石畳ふれあい広場など豊富な観光資源を有する。

面積	52.45 km ²	(5.7%)	[市 918.32 km ²]
人口密度	175 人/km ²	(37.8%)	[市 462 人/km ²]
人口	9,171 人	(2.2%)	[市 424,500 人]
男性	4,681 人	(2.1%)	[市 221,768 人]
女性	4,490 人	(2.2%)	[市 202,732 人]
うち外国人人口	150 人	(0.9%)	[市 16,327 人]
世帯数	3,313 世帯	(1.9%)	[市 178,410 世帯]
平均年齢	44.42 歳	(1.7歳)	[市 42.73 歳]

【人口】

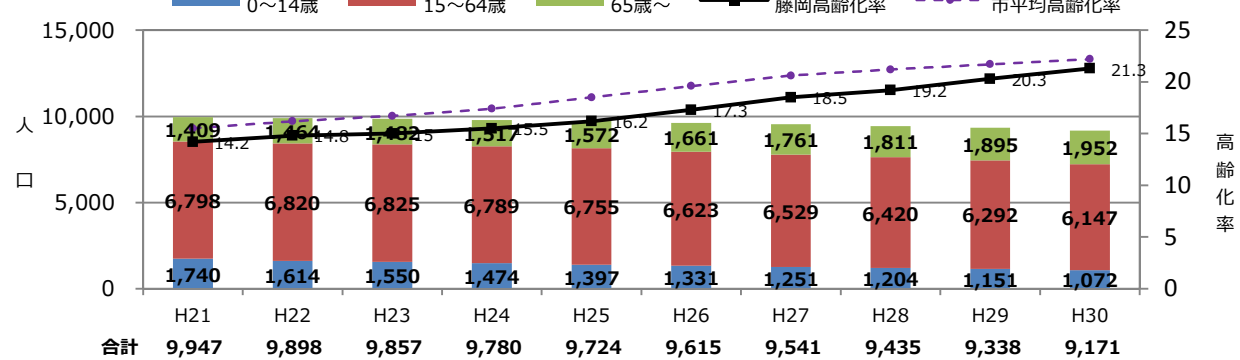
【年齢4区分別人口の推移】 (単位：人、%)

	H25	H30	増減数	増減率
合計	9,724	9,171	△ 553	△ 5.7
0~14歳	1,397	1,072	△ 325	△ 23.3
15~64歳	6,755	6,147	△ 608	△ 9.0
65歳~	1,572	1,952	380	24.2
75歳~ (再掲)	777	891	114	14.67
高齢化率	16.17	21.28	5.12	31.66

【人口動態】 (単位：人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
合計	△ 109	△ 74	△ 106	△ 97	△ 167
自然増減	△ 13	△ 15	△ 31	△ 34	△ 45
社会増減	△ 96	△ 59	△ 75	△ 63	△ 122

【人口推移】



【自治区データ】

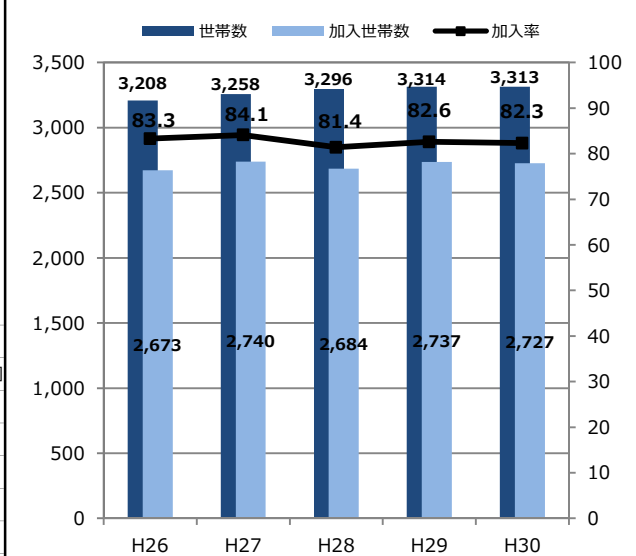
【自治区一覧】

自治区名	世帯数	自治区名	世帯数	自治区名	世帯数
藤岡飯野	413	木瀬	256	上渡合	234
藤源	32	三箇町	101	ファーツリー	132
石飛	135	大岩町	13		
北一色	208	白川町	107		
迫町	222	西市野々	44		
御作町	226	石畳	351		
上川口町	36	北曾木町	108		
下川口	27	折平町	82		

【自治区加入率】

加入率	82.3 %	加入世帯数	2,727 世帯
[市 80.9 %]		住基世帯数	3,313 世帯

【自治区加入率推移】 (単位：世帯、%)



地域自治

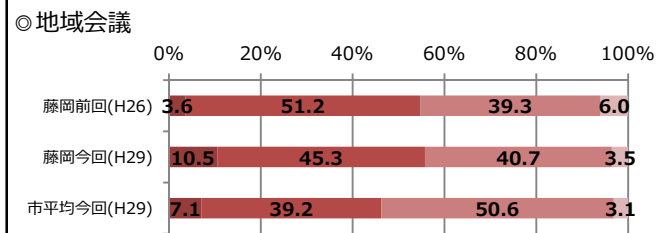
出典：H29地域自治システム評価アンケート

【地域課題】 (地域の課題認識が高い順) (単位：%)

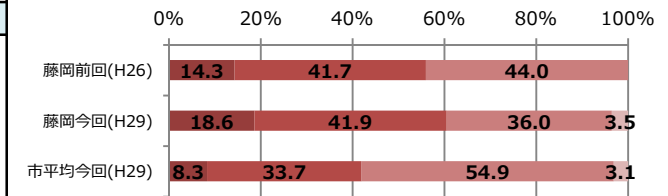
課題・問題点の項目	藤岡	豊田市	差
豊かな自然環境の保全	53.5	40.3	13.2
交通安全対策の推進	50.0	53.9	△ 3.9
生活道路・交通をスムーズにすること	45.4	45.4	0.0
公共交通機関の充実	44.2	44.3	△ 0.1
住民同士の交流の場や機会の拡充	43.0	34.2	8.8
子育ての支援の充実	40.7	38.1	2.6
医療の充実	40.7	47.2	△ 6.5
買い物の不便の解消	40.7	43.8	△ 3.1
防災対策の充実	39.5	36.8	2.7
郷土の歴史・伝統・文化の保存と再生	38.3	32.0	6.3
鳥獣害対策の強化	37.2	28.9	8.3
若年層の定住促進策の拡充	37.2	33.6	3.6
防犯対策の強化	36.1	40.5	△ 4.4
高齢者の生きがいづくりの場などの充実	33.7	38.0	△ 4.3
近所での働き口の創出	29.1	25.8	3.3
空き家や耕作放棄地の対策の強化	29.1	32.8	△ 3.7
農業・農地を保全すること	29.0	26.2	2.8
市街地の活性化と魅力づくりの推進	26.8	31.3	△ 4.5
広場、公園などの施設の整備	24.4	39.5	△ 15.1
福祉対策の充実	23.2	31.8	△ 8.6
観光によるまちづくりの推進	20.9	18.9	2.0

【地域自治システム認知度】

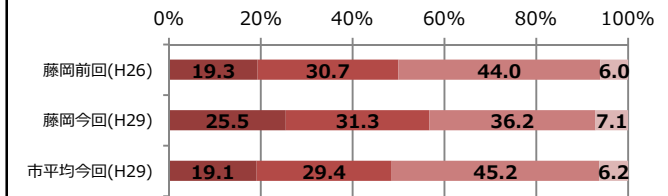
知っている 聞いたことはある 知らない 回答なし



◎地域のわくわく事業



◎地域の地域予算提案事業



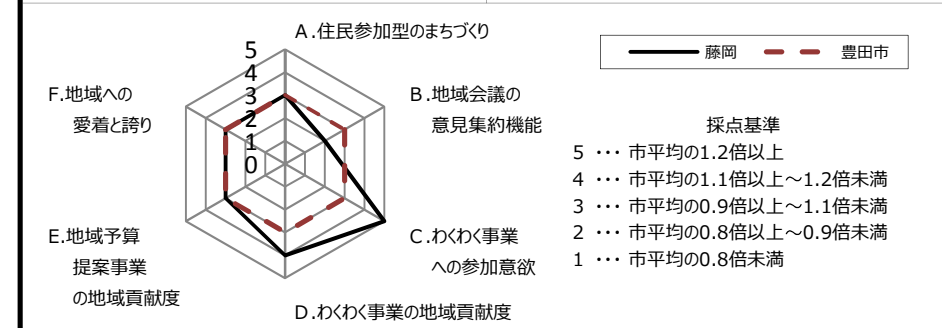
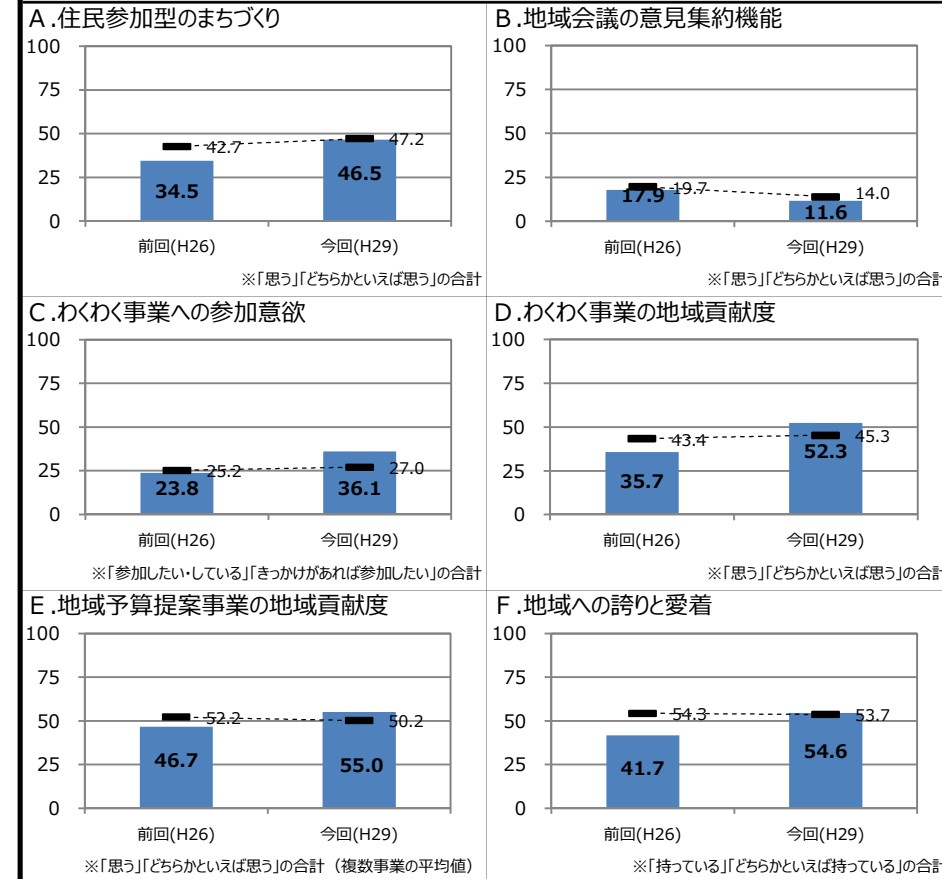
【コメント (地域概要)】

藤岡地区の人口は減少傾向にあり、15歳未満人口、生産年齢(15~64歳)人口がこの10年で1319人減少しているほか、高齢化率も7.1%上昇し、21.3%になっている。また、地域課題では、豊かな自然環境の保全、交通安全対策の推進、生活道路・交通をスムーズにすること、公共交通機関の拡充、住民同士の交流の場や機会の拡充などの項目が上位を占めている。

意識 (アンケートから診る意識面の自治力)

出典：地域自治システム評価アンケート

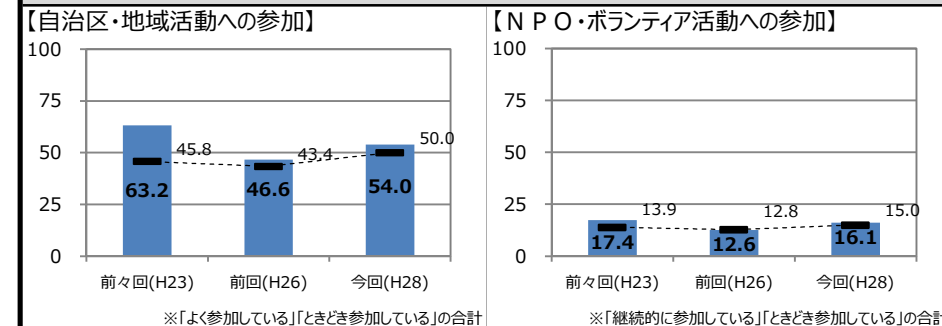
意識面自治力の推移 (レーダーチャート)



行動 1 (アンケートから診る行動面の自治力)

出典：市民意識調査

行動面自治力の推移



【コメント (意識及び行動 1)】

藤岡地区の意識面自治力について、「わくわく事業への参加意欲」「わくわく事業の地域貢献度」は、市平均と比較しても高い数値である一方で、「地域会議の意見集約機能」については、市平均の数値よりも下回っている。
また、行動面自治力については、「自治区・地域活動への参加」「NPO・ボランティア活動への参加」とも前回調査に比べて数値が改善している。

自治力見える化カルテ（2 / 2）

行動2（分野別取組から診る行動面の自治力）

健康	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	団体	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体	福祉	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体
	スポーツ推進委員	4 名	ヘルスサポートリーダー	9 名	民生委員児童委員	15 名	お元気ですかボランティア	1 名		活動例：【民生委員】 自治区と連携しながら、ひとり暮らし高齢者等に声かけや訪問を行っている。			
	高齢者クラブ	10 団体	その他団体	団体	ささえあいネット	53 団体	その他団体	団体		コメント：健康づくりに関する取組・情報発信を意欲的に行っている。			
観光・産業	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体	交流館自主グループ	16 団体	わくわく事業関連団体	団体	伝統・文化	交流館自主グループ	16 団体	わくわく事業関連団体	団体
	その他団体	団体	－	－	その他団体	1 団体	棒の手保存会	5 団体		活動例：【棒の手保存会】 無形指定文化財である棒の手の伝承・普及を行っている。			
	－	－	－	－	－	－	－	－		コメント：藤岡地区内外のイベントに参加するなど、藤岡地区の伝統・文化の普及に貢献している。			
環境・景観	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	4 団体	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体	安全・安心	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体
	その他団体	3 団体	－	－	自主防犯団体	11 団体	自主防災会	18 団体		活動例：【防災体験会】 各自治区で個別に行われていた防災体験会を平成27年度から藤岡地区コミュニティ会議が一体的に防災体験会を実施し、これまでより実践的な活動が実施されている。			
	－	－	－	－	消防団	135 名	その他団体	団体		コメント：地域住民の防災対策に対する意識は高く、自治区全体で取組んでいる。			
子どもの健全育成	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	2 団体	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	2 団体	自治振興	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	2 団体
	主任児童委員	2 名	放課後児童クラブ	2 団体	その他団体	団体	－	－		活動例：【藤岡石畳地区地域づくり協議会】 指定管理も受託している石畳ふれあい広場で月1回の朝市を実施し、藤岡地区全体から来場者を呼び込み、ふれあいの場となっている。			
	その他団体	団体	－	－	－	－	－	－		コメント：朝市には毎月600人ほどが参加し、ふれあいのあるまちづくりに貢献している。			
その他の健康1全育成	【加茂丘高校・藤岡中学校】 加茂丘高校は、平成27年度から「新☆豊田市誕生10周年プロジェクト」として、地域で活躍する人材育成を目的に「加茂丘マッチングセンター」を開設し、地域と高校性が連携して学ぶ場づくりに取り組んでいる。藤岡中学校が地域の行事やイベントにボランティアとして積極的に参加している。				【藤岡コミュニティ会議青少年育成部会】 加茂丘高校の生徒と夏休みの子ども向けイベントの企画・運営するなど、地域の子どもたちが楽しめるイベントの開催を通して、将来の地域で活躍する人材を育成している。				子ども	【加茂丘高校・藤岡中学校】 加茂丘高校は、平成27年度から「新☆豊田市誕生10周年プロジェクト」として、地域で活躍する人材育成を目的に「加茂丘マッチングセンター」を開設し、地域と高校性が連携して学ぶ場づくりに取り組んでいる。藤岡中学校が地域の行事やイベントにボランティアとして積極的に参加している。			
	コメント：校外からのニーズと校内のニーズをマッチさせ、地域と高校の連携に寄与している。				コメント：地元高校の生徒と協力イベントを企画するなど、子ども達の交流の場づくりに寄与している。								

【コメント（行動2）】

当地域のわくわく事業関連団体等の各種団体の活動は、環境整備や福祉健康など多岐に渡っている。「自治力見える化カルテ」の地域課題において、公園や広場の整備・地域住民の交流の場の充実などを課題とする割合は市平均より低く、ひとえに各種団体の活動の成果が地域課題の解消に役立っているといえる。一方で、意識面自治力の「わくわく事業への参加意欲」は市平均と比べて高いも関わらず、わくわく事業実施団体数に変化がないため、より多くの市民がわくわく事業に参加できるようにしていく必要がある。

行動3（事業の展開から診る行動面の自治力）

【わくわく事業実績】										
事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
①保健、医療、福祉の推進	1	1			1					
②地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツの振興	2	2	3	2	3	3	1			
③安心・安全な地域づくり	1	1		1						
④地域の生活環境改善、景観づくり 自然環境保全	4	8	5	5	3	5	5	4	5	4
⑤子どもの健全育成	1	1			1			1	1	2
⑥地域の特性を生かした産業振興					2					
⑦地域づくりに有効な助言や提案を受けるための事業										
⑧その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業			1	1	1	1	2	2	2	2
事業件数（件）	9	13	9	9	11	9	8	7	8	8
実績額（千円）	4,761	4,977	4,907	4,900	4,939	4,934	5,000	4,260	2,992	3,417

※H30は、平成30年7月31日現在

【地域予算提案事業実績】											
事業名	事業分類	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
川環境づくり事業	環境対策		330	283							
犯罪に強い地域づくり事業	防犯対策		3,656	1,814	2,524						
災害に強い地域づくり事業	防災対策		192	28							
健康づくり事業	健康増進		1,580	1,316	1,205	1,442	1,342	1,114			
「ふじの回廊」再生及び周辺環境整備事業	観光交流			8,451	336	3,116					
安全で快適な歩行空間づくり事業	交通安全				3,955	2,480	1,260	325			
緑と人の集うまちづくり事業	観光交流					9,339	7,189	100			
ふじおか再発見事業	観光交流						5,456	667			
ふじの回廊環境整備事業	観光交流							1,741	875	1,764	
やろ！Myふじおかシャキシャキ健康事業	健康増進								1,208	1,043	1,520
地域の防災力向上事業	防災対策								938	517	320
ふじおか回遊促進事業	観光交流										5,310
実績額（千円）				11,892	8,020	16,377	15,247	3,947	3,021	3,324	7,150

※H30は当初予算額

【コメント（行動3）】

「自治力見える化カルテ」で地域課題として認知度が高い項目は、豊かな自然環境の保全、交通安全対策の推進、生活道路・交通をスムーズにすること、公共交通機関の拡充、住民同士の交流の場や機会の拡充である。藤岡地域の地域予算提案事業とわくわく事業では、主に自然環境の保全、健康増進の取組を疾病予防ととらえれば医療の充実などの地域課題に対応して取組が行われている。しかしながら、わくわく事業団体数は横ばい傾向にあり、増加させていくためには、制度のPRを進めるとともに、次なる地域の担い手の育成につながる取組が求められる。

総評

藤岡地区は、自治区加入率が比較的高く、自治区を中心とした地域活動が活発に行われてきた地域である。藤岡地域の藤岡支所周辺は、豊田市総合計画で地域核に位置付けられ、藤岡支所・交流館の合築を始めとする地域核整備事業が進められており、今後、地域の賑い創出に向けて、交流館利用団体やわくわく団体をはじめとする地域住民と共働しい取組を推進していく必要がある。人口推計において、今から2025年の間に65歳以上人口が、1,952人から2,273人へと321人増加し、地域の担い手である生産年齢人口(15～64歳)が6,147人から5,497人へと650人減少する見込みであり、今後、わくわく事業団体も含めて地域活動の担い手の育成を推進していく必要がある。また、藤岡地区の地域課題として、豊かな自然環境の保全、交通安全対策の推進、生活道路・交通をスムーズにすること、公共交通機関の拡充、住民同士の交流の場や機会の拡充などの項目の認知が高い中で、現在、地域予算提案事業では、防災事業と健康事業に取り組んでおり、平成32年度から開始する新規事業については、地域会議を地域の意見集約機関としての機能を強化しながら、地域課題を吸い上げ、藤岡地区特有の地域課題の解決にむけて事業検討をおこなっていく必要がある。